

特別勘定運用報告書 月次

2025年9月末現在

■特別勘定の運用状況

■組入投資信託の運用状況(ご参考)

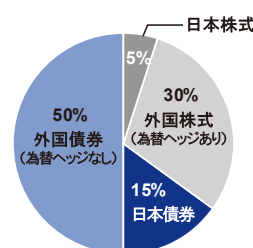
特別勘定名: グローバルバランス型(C001H)

【特別勘定の種類および運用方針】

特別勘定名	グローバルバランス型(C001H)
特別勘定の運用方針	主として国内外の株式および債券ならびに円建の短期金融資産を投資対象とする投資信託証券への分散投資を行ない、リスクを軽減しつつ、安定した運用成果の確保および中長期的な特別勘定資産の成長をめざして運用を行ないます。運用にあたっては、主として実質的に国内外の株式および債券に投資する部分(収益期待資産)と主として実質的に円建の短期金融資産に投資する部分(リスク回避資産)の配分比率を定期的に見直すことにより、特別勘定資産のボラティリティを4%(年率)に保つことを目標とします。

資産種類	主な投資対象とする投資信託	組入比率
収益期待資産	日本株式インデックス・ファンドVA2 ＜適格機関投資家限定＞	5%
	外国株式インデックス・ファンドVA3 ＜適格機関投資家限定＞	30%
	日本債券インデックス・ファンドVA3 ＜適格機関投資家限定＞	15%
	外国債券インデックス・ファンドVA3 ＜適格機関投資家限定＞	50%
リスク回避資産	短期国債ファンドVA ＜適格機関投資家限定＞	-

収益期待資産の構成



※ 特別勘定が主な投資対象とする投資信託は、将来変更されることがあります。

【特別勘定の資産運用における主な投資リスク】

価格変動リスク	組入れた株式や債券などの価格は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況により、短期的または長期的に下落していく可能性があります。そういった場合、価格変動によっては、損失を被ることがあります。
信用リスク	組入れた株式や債券などの発行者や取引先の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化などにより、損失を被ることがあります。
流動性リスク	市場における売買量の欠如などの理由により、最適な時期で株式や債券などの売買ができず、機会損失を被ることがあります。
為替リスク	外国為替相場は、金利変動、その他の政府、中央銀行もしくは国際通貨基金などの国際機関による介入または通貨統制その他の政治的展開を含む多数の理由により、短期間でも大きく変動する場合があります、その結果、損失を被ることがあります。
カントリーリスク	投資対象国における政治不安や社会不安、あるいは他国との外交関係の悪化などの要因により、投資成果に大きく影響することがあります。また、投資対象国の政治当局による、海外からの投資規制や課徴的な税制、海外からの送金規制などの様々な規制の導入や政策変更などにより、投資対象国の株式や債券などへの投資が悪影響を被ることがあります。

【特別勘定群について】

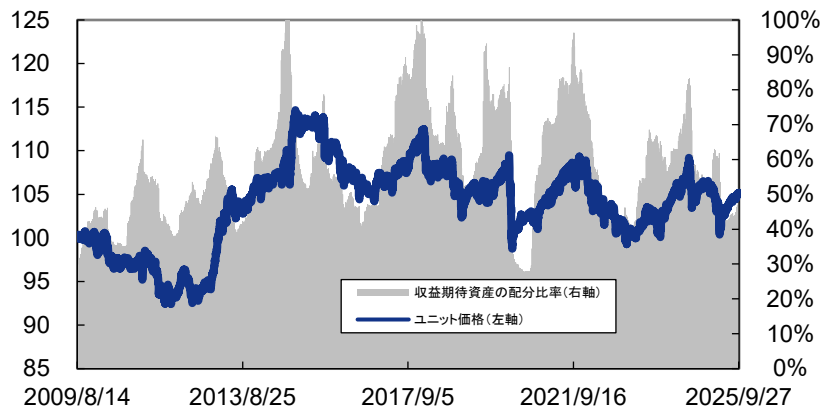
- 一時払変額年金保険(年金原資保証・Ⅱ型)では、特別勘定をグループ化し、特別勘定群として設定しています。
- 「ステップビジョン」に設定されている特別勘定群を「特別勘定群03型」といい、上記「特別勘定の種類および運用方針」に記載の特別勘定により構成されています。
- 保険契約者がご契約の際に選択することができる特別勘定は、特別勘定群03型に含まれる特別勘定および今後当社が利用を認める特別勘定に限定されます。
- 一時払変額年金保険(年金原資保証・Ⅱ型)では、募集代理店などにより異なる特別勘定群を設定した商品を取り扱う場合があります。詳細については、カスタマーサービスセンターにお問い合わせいただくか、当社ホームページをご覧ください。

- この資料は一時払変額年金保険(年金原資保証・Ⅱ型)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または特別勘定において主な投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この資料中の運用実績などに関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。
- この資料の8ページの「ご留意いただきたい事項について」を必ずご覧ください。

特別勘定のユニット価格

【特別勘定名】グローバルバランス型(C001H)

【ユニット価格推移グラフおよび資産配分比率】



【ユニット価格推移】

2025年9月末現在	1ヵ月前	3ヵ月前	6ヵ月前	1年前
105.17	104.56	103.93	103.42	105.21

※ ユニット価格は小数第3位を切り捨てて表示しております。

【ユニット価格の騰落率】

運用開始日	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	運用開始来
2009年8月15日	0.58%	1.19%	1.69%	-0.04%	5.17%

※ 期間騰落率(%)は、それぞれの期間をさかのぼった該当月の末日付ユニット価格に対して、作成基準日付のユニット価格がどれくらい変動したかを計算し、小数第3位を四捨五入しております。

【資産構成】

資産等の種類	構成比
日本株式	2.50%
外国株式(為替ヘッジあり)	14.47%
日本債券	6.73%
外国債券(為替ヘッジなし)	23.56%
短期金融資産	48.33%
現預金その他	4.41%

【収益期待資産の配分比率の履歴】

2025/07/10	2025/07/17	2025/07/24	2025/07/31
43.94%	44.22%	44.31%	44.51%
2025/08/07	2025/08/14	2025/08/21	2025/08/28
43.75%	43.84%	44.05%	44.94%
2025/09/04	2025/09/11	2025/09/18	2025/09/25
46.27%	46.77%	46.90%	47.60%

※ 特別勘定は、一定の現預金などを保有します。

※ 資産構成および収益期待資産の配分比率は、小数第3位を四捨五入にて表示しております。

※ 資産構成についての詳細は「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」をご参照ください。

※ 収益期待資産の配分比率の履歴における各基準日の比率は、次の基準日の前日まで適用されます。

※ 特別勘定は一定の現預金を保有していることなどから、特別勘定の実際の資産構成は算出された資産配分比率(収益期待資産とリスク回避資産の配分比率)との間に差異が生じる可能性があります。

※ 日本もしくは海外の休日により投資信託の発注が行えない場合があります。その場合は、収益期待資産の配分比率にもとづき、翌営業日に発注を行いません。

■ この資料は一時払変額年金保険(年金原資保証・Ⅱ型)の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、生命保険契約の募集または特別勘定において主な投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。

■ この資料中の運用実績などに関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

■ この資料の8ページの「ご留意いただきたい事項について」を必ずご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

グローバルバランス型(C001H)

【特別勘定が投資する投資信託】

日本株式インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>

【運用会社】

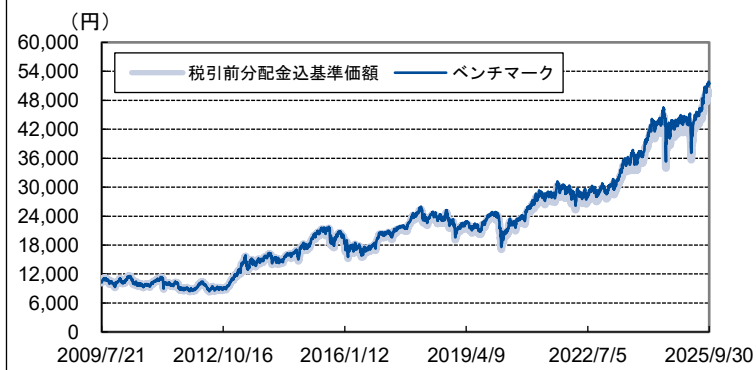
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資方針と主な投資対象

- ・日本株式インデックス・マザーファンドへの投資を通じて中長期的な観点から、TOPIX(東証株価指数、配当込み)に連動した投資成果をめざして運用を行ないます。

基準価額の推移と騰落率

(設定日:2009年7月21日)



	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	2.97%	11.00%	19.26%	21.24%	82.64%	394.65%
ベンチマーク	2.98%	11.04%	19.39%	21.55%	83.91%	414.91%

※ 基準価額は信託報酬控除後の値です。

※ 基準価額はファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。

※ 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。

※ ベンチマークはTOPIX(東証株価指数、配当込み)で、ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。

基準価額および純資産総額

	2025年9月末現在
基準価額	49,465 円
純資産総額	138 百万円

コメント

9月の国内株式市場は、日銀が保有する上場投資信託(ETF)の売却を決定したことや利益確定売りが重荷となりましたが、米利下げ観測を背景とした米ハイテク株高や米自動車関税の引き下げに加えて、次期政権の財政拡張期待も相場を支える中、上昇しました。TOPIX指数は前月末比2.03%上昇し、3137.60ポイントで終了しました。(配当込みTOPIX指数は2.98%の上昇でした。)

上旬は、米利下げ観測を背景とした米ハイテク株高やトランプ米大統領による自動車関税引き下げの大統領令への署名に加えて、次期政権が財政拡張的な政策に傾くとの思惑も相場を支える中、上昇しました。

中旬は、米利下げ再開や今後の利下げ継続見通しを受けた米株高が相場を支えましたが、日銀が金融政策決定会合で保有するETFの売却を決定したことが重荷となりました。

下旬は、次期政権の財政拡張や中東情勢の緊張緩和への期待が相場を支えましたが、利益確定売りや日銀の追加利上げ観測を受けた円高が重荷となりました。

純資産総額および組入銘柄数(マザーファンド)

	2025年9月末現在
純資産総額	48,037 百万円
組入銘柄数	1,666

組入比率上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.28%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.28%
3	ソニーグループ	電気機器	3.19%
4	日立製作所	電気機器	2.19%
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.00%
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.83%
7	任天堂	その他製品	1.75%
8	三菱商事	卸売業	1.50%
9	三菱重工業	機械	1.48%
10	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.42%

組入比率上位10業種(マザーファンド)

	業種名	比率
1	電気機器	16.86%
2	銀行業	9.23%
3	情報・通信業	7.73%
4	卸売業	7.03%
5	輸送用機器	6.57%
6	機械	5.84%
7	化学	4.56%
8	小売業	4.32%
9	サービス業	3.93%
10	医薬品	3.44%

○ 本資料は金融商品取引法上および投信法上の開示書類ではありません。

○ 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成したレポートを参考として提供するものであり、その内容に関して明治安田トラスト生命保険株式会社は一切責任を負いません。

○ 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値などは将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況などは本資料作成時点のステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○ 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○ 当ファンドは、組み入れた有価証券などの値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

グローバルバランス型(C001H)

【特別勘定が投資する投資信託】

外国株式インデックス・ファンドVA3 <適格機関投資家限定>

【運用会社】

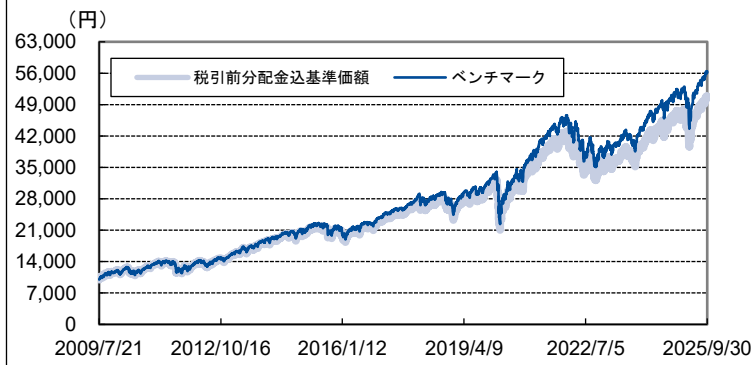
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資方針と主な投資対象

・外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場(MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ヘッジベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行なうことを基本とします。

基準価額の推移と騰落率

(設定日:2009年7月21日)



	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	2.00%	6.44%	15.13%	11.41%	55.95%	408.13%
ベンチマーク	2.05%	6.58%	15.75%	12.26%	58.87%	464.37%

※ 基準価額は信託報酬控除後の値です。

※ 基準価額はファンド設定日を10,000として指数化しております。

※ 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。

※ ベンチマークはMSCI Inc.が公表するMSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ヘッジベース)で、ファンド設定日を10,000として指数化しております。

基準価額および純資産総額

	2025年9月末現在
基準価額	50,813 円
純資産総額	706 百万円

コメント

9月の外国株式市場は、米景気の悪化や米政府機関の一部閉鎖懸念、フランスの財政悪化への警戒感などが重荷となりましたが、米利下げ再開や利下げ継続観測が相場を支える中、上昇しました。

米国市場は、米景気の悪化や米政府機関の一部閉鎖懸念が重荷となりましたが、米利下げ再開や利下げ継続観測に加えて、米中貿易協議の進展期待も相場を支える中、上昇しました。

欧州市場は、米景気の不透明感やフランスの財政悪化懸念、欧州の利下げ観測後退が重荷となりましたが、米利下げ再開や今後の利下げ継続見通しを受けた米株高が相場を支えました。

アジア市場は、オーストラリア市場は堅調な豪経済や根強いインフレを受けた豪利下げ観測の後退が重荷となりました。香港市場は中国産人工知能(AI)の開発進展期待や中国政府の政策期待が相場を支えました。

純資産総額および組入銘柄数(マザーファンド)

	2025年9月末現在
純資産総額	370,215 百万円
組入銘柄数	1,157

組入比率上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	5.55%
2	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.75%
3	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	4.54%
4	AMAZON COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	2.65%
5	META PLATFORMS INC-A	メディア・娯楽	2.02%
6	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	1.83%
7	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	1.78%
8	TESLA INC	自動車・自動車部品	1.61%
9	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.50%
10	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	1.10%

組入比率上位10か国(マザーファンド)

	国名	比率
1	アメリカ	72.71%
2	イギリス	3.57%
3	カナダ	3.30%
4	フランス	2.66%
5	ドイツ	2.39%
6	スイス	2.25%
7	オーストラリア	1.66%
8	オランダ	1.20%
9	スウェーデン	0.88%
10	スペイン	0.87%

○ 本資料は金融商品取引法上および投信法上の開示書類ではありません。

○ 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成したレポートを参考として提供するものであり、その内容に関して明治安田トラスト生命保険株式会社は一切責任を負いません。

○ 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値などは将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況などは本資料作成時点のステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○ 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○ 当ファンドは、組み入れた有価証券などの値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

グローバルバランス型(C001H)

【特別勘定が投資する投資信託】

日本債券インデックス・ファンドVA3 <適格機関投資家限定>

【運用会社】

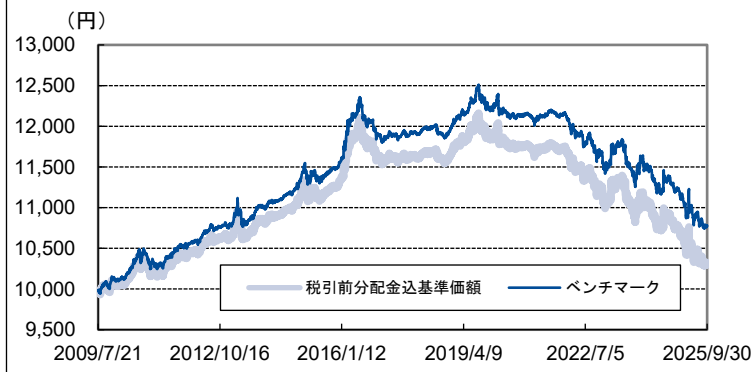
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資方針と主な投資対象

・日本債券インデックス・マザーファンドへの投資を通じて、NOMURA-BPI総合に連動した投資成果をめざして運用を行ないます。

基準価額の推移と騰落率

(設定日:2009年7月21日)



	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	-0.11%	-1.44%	-1.68%	-5.37%	-8.63%	3.13%
ベンチマーク	-0.08%	-1.40%	-1.59%	-5.17%	-8.03%	7.73%

※ 基準価額は信託報酬控除後の値です。

※ 基準価額はファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。

※ 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。

※ ベンチマークはNOMURA-BPI総合で、ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。

基準価額および純資産総額

	2025年9月末現在
基準価額	10,313 円
純資産総額	251 百万円

一般特性(マザーファンド)

平均デュレーション	8.23
平均格付	AA
ポートフォリオ最終利回り(%)	1.64

格付配分(マザーファンド)

AAA	2%
AA	93%
A	5%
BBB	0%
BB以下	0%
現金・その他	0%

残存年限別配分(マザーファンド)

1年未満(現金等含む)	1%
1年以上3年未満	23%
3年以上7年未満	32%
7年以上10年未満	10%
10年以上	34%

セクター配分(マザーファンド)

国債/政府機関債	91%
モーゲージ債	2%
社債	8%
現金・その他	0%

コメント

9月の日本債券市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米長期金利低下から、債券が買われましたが、その後は株価上昇を受けた投資家心理の改善や日銀の利上げ観測から債券が売られた結果、月間では債券の売りが優勢となりました。日本10年国債利回りは前月末から0.05%上昇の1.65%、無担保コール翌日物は前月末と同じ0.477%となりました。

純資産総額および組入銘柄数(マザーファンド)

	2025年9月末現在
純資産総額	61,635 百万円
組入銘柄数	381

- 本資料は金融商品取引法上および投信法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成したレポートを参考として提供するものであり、その内容に関して明治安田トラスト生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値などは将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況などは本資料作成時点のステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは、組み入れた有価証券などの値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

グローバルバランス型(C001H)

【特別勘定が投資する投資信託】

外国債券インデックス・ファンドVA3 <適格機関投資家限定>

【運用会社】

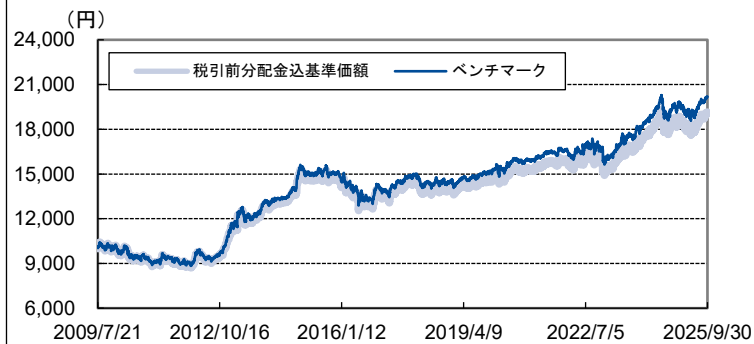
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資方針と主な投資対象

・外国債券インデックス・マザー・ファンドに投資することにより、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に連動した投資成果をめざして運用を行ないます。

基準価額の推移と騰落率

(設定日:2009年7月21日)



	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	1.91%	3.49%	4.71%	6.78%	19.89%	91.16%
ベンチマーク	1.95%	3.58%	4.86%	7.16%	21.04%	101.84%

※ 基準価額は信託報酬控除後の値です。
 ※ 基準価額はファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
 ※ 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。
 ※ ベンチマークはFTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)で、FTSE Fixed Income LLCが公表する国別指数(現地通貨ベース)をもとにTTMLレート(対顧客電信売買相場)で円換算をし、ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。

コメント

9月の海外債券市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米利下げ観測から債券が買われましたが、その後は米景気の底堅さや欧州の利下げ終了観測、英国の財政懸念などから債券が売られました。

米国市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米利下げ観測から債券が買われました。その後は利益確定の売りに加えて、米景気の底堅さを背景とした米利下げ観測の後退から債券が売られました。米国10年国債利回りは前月末から0.08%低下の4.15%となりました。

欧州市場は、上旬に米労働市場減速を受けた米長期金利低下から債券が買われました。その後は、欧州の利下げ終了観測や株価上昇、英国の財政懸念も重荷となる中、債券が売られました。独10年国債利回りは前月末から0.01%低下の2.71%、英10年国債利回りは前月末から0.02%低下の4.70%となりました。

パフォーマンスについては、米国債利回りの低下や円安進行がプラスに寄与しました。

基準価額および純資産総額

	2025年9月末現在
基準価額	19,116 円
純資産総額	1,079 百万円

純資産総額および組入銘柄数(マザーファンド)

	2025年9月末現在
純資産総額	86,235 百万円
組入銘柄数	626

一般特性(マザーファンド)

平均デュレーション	6.28
平均格付	AA
ポートフォリオ最終利回り(%)	3.39

通貨配分(マザーファンド)

日本円	0%
米ドル	46%
ユーロ	30%
英ポンド	6%
カナダドル	2%
その他先進国通貨	16%

組入比率上位10か国(マザーファンド)

	国名	比率
1	アメリカ	46%
2	中国	11%
3	フランス	7%
4	イタリア	7%
5	ドイツ	6%
6	イギリス	6%
7	スペイン	4%
8	カナダ	2%
9	ベルギー	2%
10	オーストラリア	1%

格付配分(マザーファンド)

AAA	12%
AA	62%
A	18%
BBB	8%
BB以下	0%
現金・その他	0%

- 本資料は金融商品取引法上および投信法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成したレポートを参考として提供するものであり、その内容に関して明治安田トラスト生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値などは将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況などは本資料作成時点のステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは、組み入れた有価証券などの値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
グローバルバランス型(C001H)

【特別勘定が投資する投資信託】
短期国債ファンドVA <適格機関投資家限定>

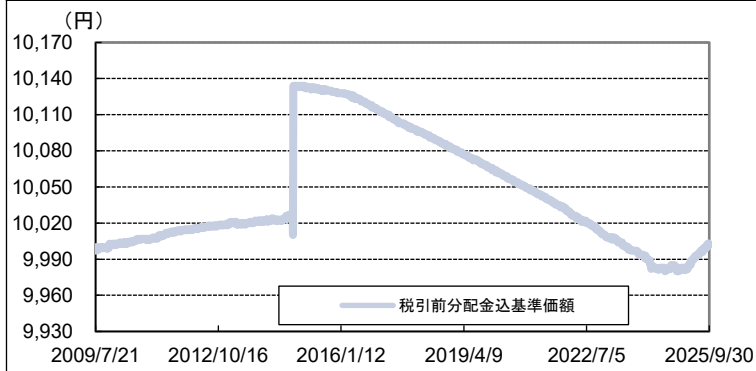
【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

投資方針と主な投資対象

- ・短期国債マザーファンドへの投資を通じて、国債を中心に日本の短期公社債等を実質的な投資を行ない、安定した投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。

基準価額の推移と騰落率

(設定日:2009年7月21日)



	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	直近3年	設定来
ファンド	0.03%	0.07%	0.16%	0.17%	-0.15%	0.02%

※ 基準価額は信託報酬控除後の値です。

※ 基準価額はファンド設定日を10,000として指数化しております。

※ 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。

コメント

9月の短期国債市場は、利回りが上昇する軟調な展開となりました。

需給面では、3ヵ月物国庫短期証券の需給改善を背景に平均落札利回りが低下しました。

国外からの要因としては、米労働市場減速を受けた米利下げ観測から米長期金利が低下したことが金利低下圧力となりました。

金融政策面では、日銀の利上げ観測が金利上昇圧力となりました。

3ヵ月物国庫短期証券利回りは前月末から0.011%上昇の0.445%となりました。

マザーファンドでは、国庫短期証券の保有を継続しました。

基準価額および純資産総額

	2025年9月末現在
基準価額	10,002 円
純資産総額	4,835 百万円

純資産総額および組入銘柄数(マザーファンド)

	2025年9月末現在
純資産総額	16,217 百万円
組入銘柄数	11

一般特性(マザーファンド)

平均デュレーション	0.57
平均格付	AA
ポートフォリオ最終利回り(%)	0.62

組入比率上位10銘柄(マザーファンド)

	銘柄名	比率
1	第1319回国庫短期証券 0.616% '26/7/21	17%
2	第1307回国庫短期証券 0.570% '26/5/20	15%
3	第1313回国庫短期証券 0.567% '26/6/22	14%
4	第1281回国庫短期証券 0.543% '26/1/20	13%
5	第1270回国庫短期証券 0.438% '25/11/20	9%
6	第1332回国庫短期証券 0.727% '26/9/24	7%
7	第1298回国庫短期証券 0.414% '25/10/10	6%
8	第1326回国庫短期証券 0.694% '26/8/20	6%
9	第1288回国庫短期証券 0.611% '26/2/20	5%
10	第1294回国庫短期証券 0.618% '26/3/23	3%

- 本資料は金融商品取引法上および投信法上の開示書類ではありません。
- 本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成したレポートを参考として提供するものであり、その内容に関して明治安田トラスト生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- 本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値などは将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況などは本資料作成時点のステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
- 当ファンドは、組み入れた有価証券などの値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。

ご留意いただきたい事項について

投資リスクについて

- この商品では、お払い込みいただいた一時払保険料から契約初期費用を控除した金額を積立金として特別勘定で運用します。特別勘定は、国内外の株式および債券を主な投資対象とする投資信託などに投資することにより運用を行います。
- この商品では、運用実績が直接、死亡給付金額、解約返戻金額および将来の年金額などに反映されることから、投資の対象となる株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、解約返戻金額などのお受け取りになる金額の合計額が一時払保険料を下回り、損失が生じるおそれがあります。これらのリスクは、ご契約者に帰属することになります。

諸費用について

- この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」「保険契約関連費用」「資産運用関連費用」「年金管理費」の合計額となります。

項目	目的	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結などにかかる費用です。	一時払保険料に対して 5%	特別勘定への繰入時に 一時払保険料から控除します。
保険契約関連費用	ご契約の維持・管理、年金原資および死亡給付金を最低保証するための費用です。	特別勘定の資産総額に対して 年率2.65%	毎日、左記の年率の1/365を 特別勘定の資産から控除します。
資産運用関連費用 (信託報酬率)	特別勘定の運用にかかる費用で、特別勘定において主な投資対象とする投資信託の信託報酬などが含まれます。	特別勘定において主な投資対象とする投資信託の信託財産に対して 年率0.20735%以内 (税抜き0.1885%)	毎日、左記の年率の日割額を 信託財産から控除します。
年金管理費	年金支払の管理にかかる費用です。	支払年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に 責任準備金から控除します。 遺族年金支払特約による年金のお支払い についても同様のお取り扱いです。

- ※ 資産運用関連費用(信託報酬率)は、収益期待資産とリスク回避資産の配分比率の変動などにより増減します。記載の数値は、収益期待資産の配分比率を100%として、収益期待資産の組入比率で主な投資対象とする各投資信託に投資した場合のものです。リスク回避資産の配分比率を100%とした場合は、年率0.066%(税抜き0.06%)となります。
- ※ 資産運用関連費用として、信託報酬のほかに、監査報酬、信託事務の諸費用、信託財産留保額、有価証券の売買委託手数料および消費税などの税金などがかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニット価格に反映することになります。従って、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。
- ※ 資産運用関連費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により将来変更されることがあります。
- ※ 年金管理費は、将来変更されることがあります。

生命保険会社が経営破綻に陥った場合などについて

明治安田トラスト生命の業務もしくは財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した基本保険金額、年金額、死亡給付金額などが削減されることがあります。

明治安田トラスト生命は、生命保険契約者保護機構に加入しています。生命保険契約者保護機構の会員である生命保険会社が経営破綻に陥った場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがあります。この場合にも、ご契約時の基本保険金額、年金額、死亡給付金額などが削減されることがあります。詳細については、生命保険契約者保護機構までお問合せください。

生命保険契約者保護機構

電話 03-3286-2820 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～12:00、13:00～17:00 ホームページアドレス <https://www.seihohogo.jp/>

この商品は生命保険商品です

この商品は明治安田トラスト生命を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありませんので、預金保険制度の対象外となります。この商品の投資リスクについては、上記の「投資リスクについて」を必ずご覧ください。

その他ご留意いただきたい事項について

- この商品の年金原資には一時払保険料相当額の最低保証がありますが、年金原資が最低保証されるためには、一部解約などのご契約内容の変更をされずに、据置期間満了時まで運用いただく必要があります。
- 解約返戻金には最低保証がありませんので、運用実績によっては解約された場合の解約返戻金が一時的に保険料を下回ることがあります。

〈引受保険会社〉

明治安田トラスト生命保険株式会社

〒113-0033

東京都文京区本郷1丁目10番9号 住友不動産水道橋壹岐坂ビル

カスタマーサービスセンター

0120-941-863

月曜～金曜 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)

<https://www.meijiyasuda-trustlife.co.jp>